

グランプリ北海道

入賞プラン決定

サインージ付き 高機能AEDシステム



代表の本間颯介さん

私たちが提案するAEDシステムは「発見」「開扉」「通報」「使用判断」「操作

支援を一連の流れとし、救助までの時間短縮を図る仕組みだ。

「しゅんじ君」はAEDの扉を開けたことを起点として、消防局への通知等を行う機構であり、AEDの取り出しと通報が同時に成立する。「そくじ君」はAEDアプリを介して

最優秀賞

札幌大学
北海道科学大学
北海道科学大学
札幌大学

本間 颯介
佐藤 悠斗
浅田 誠一朗
為永 光介

北海道の学生が独自のビジネスプランで競い合う「第21回キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)北海道」(藤井裕実行委員長、北海道経済連合会会長)の審査会が2025年11月19日、札幌市内で開かれた。今年度は道内9校から20件の応募が寄せられ、まず事務局による予備審査で10件に絞り込まれた。その後、審査委員による書類審査を経て上位5件が最終審査に進出した。審査会当日は、これら5件について学生が自らプレゼンテーションを行い、審査委員が事業性や独創性、

社会的意義など多角的な観点から評価した。最優秀賞には、札幌大学2年の本間颯介さんらのチームによる「サインージ付き高機能AEDシステム」が選ばれた。同チームは2026年2月24日に東京で開催される全国大会への出場権を獲得した。

最優秀賞は全国大会へ進出

受賞プランは、救命率向上を目的に従来の自動体外式除細動器(AED)に通信機能やサインージを組み合わせたもので、緊急時の迅速な対応を可能にする点が高く評価された。優秀賞の「GUNBEAR」は、建鎖さんが選ばれた。R「北見工業大学・杉村拓海さん」は、熊被害防止に向けた次世代型セーフティデバイスを提案。奨励賞の「コメコレ」(北海道教育大学・宮島慧人さん)は、捨てられるごはんや惣菜を救う新たな食循環モデルを提示した。努力賞には、外国人旅行者と伝統文化をつなぐ「Adventure Travel」(小樽商科大学・池田莉々香さん)と、介護分野の信頼性向上を目指す「Green Card」(小樽商科大学・金建鎖)さんが選ばれた。



社会課題の解決に向けたプランが目立った

学生の発想が社会実装への可能性示す

学生たちの柔軟な発想と社会課題への真摯な姿勢が光る大会となった。



実行委員長 北海道経済連合会会長 藤井 裕

第21回キャンパスベンチャーグランプリ北海道において栄えある賞に輝かれた皆さま、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

本大会は、北海道の未来を担う学生の起業家精神を涵養し、創造力とチャレンジ精神に富む人材の育成を目的として、多くの関係者のご支援のもと、毎年開催しております。今回も道内の大学・専門学校9校から合計20件の熱意あふれるビジネスプランが寄せられました。

通信機能を付加することで従来のAEDより迅速に傷病者のもとに届けることを可能とし、救命率の向上を目指す社会的意義の高い提案でした。また、優秀賞の「GUNBEAR」は、熊被害防止という地域課題に着目し、既存技術を活用した次世代型セーフティデバイスを、「安心」を提供しようという

うものでした。いずれも今日の社会課題に真摯に向き合っており、発想が豊かで独創性に富んでいました。その他の受賞提案も、食品ロスの削減や外国人旅行者と伝統文化をつなぐサービス、介護分野の信頼性向上など、社会的課題を的確に捉え、構想力に富んだ素晴らしい内容でした。北海道では、現在、

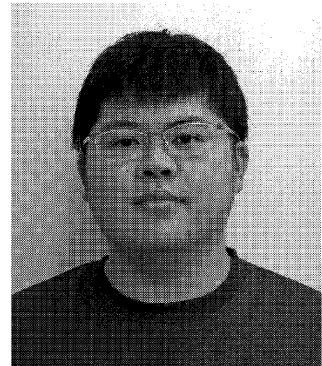
ラビダス社による次世代半導体工場の試作ラインが稼働し、2027年の量産開始に向けて着実に進展しています。さらに、AIやデータセンタール再生可能エネルギーなど、新たな産業が形成されつつあります。加えて、豊かな自然と食、観光資源、宇宙などの未来産業の拠点として期待されます。皆さま

まにはぜひこの地で起業し、地域に根ざした事業を展開し、北海道の明るい未来を創っていただきたいと願っております。

最後に、本大会を支えてくださった日刊工業新聞社さま、協賛・後援いただいた関係者の皆さま、油谷幸代審査委員長をはじめ審査委員の皆さまに深く感謝申し上げます。

学生の創造力が北海道の未来を動かす

人とヒグマの「絶対的な安心距離」を創造する 次世代型セーフティデバイス「GUNBEAR」



杉村拓海さん

深刻化するヒグマとの遭遇リスクに対し、人と野生動物の間に「絶対的な安心距離」を創造する次世代型セーフティデバイス「GUNBEAR」(ガンベア)である。

最大の特徴は、20m超の長射程と、風に強い液体ストリーム噴射、そしてホルスターから瞬時に抜ける即応性だ。これにより、既存の対策では得られなかった、冷静に対処できる安全な領域を確保する。技術的核心は、特許出願予定の「発射時自動混合システム」にある。平時は無害な水と専用カートリッジを別々に携行し、発射の瞬間にのみ撃退液を生成する仕組みにより、携行時の誤射リスクを根絶し、水による安全な訓練も実現した。

北海道という課題の最前線から、安全な共存のための新しいスタンダードを世界へ発信する。

優秀賞

北見工業大学

杉村 拓海

第21回CVG北海道実行委員会

委員長 藤井 裕 (北海道経済連合会会長)
委員 浦田 秀行 (北海道経済産業局局長)
委員 鈴木 直道 (北海道知事)
委員 岩田 圭剛 (北海道商工会議所連合会会頭・開催当時)

委員 吉住 淳男 (北海道商工会連合会会長)
委員 福島 知之 (北海道科学技術総合振興センター専務理事)
委員 斉藤 伸介 (日刊工業新聞社東日本支社長)

牧場仕立ての新鮮な“ロケット燃料”です。

カーボンニュートラルを目指してエア・ウォーターが進める

取り組みのひとつ、「液化バイオメタン」。

その原料はなんと、北海道で飼育されている牛たちのふん尿です。

臭気や水質汚染など、環境課題の一因だったふん尿を集めて製造した

液化バイオメタンは、カーボンニュートラルな再生可能エネルギーとして、

地産地消のロケット燃料などへの活用も期待されています。

わたしたちエア・ウォーターは

「地球の恵みを、社会の望みに。」という

パーパスの実現のために、

さまざまな社会課題の

解決に挑戦し続けます。

地球の恵みを、社会の望みに。

エア・ウォーター

第21回

キャンパスベンチャー



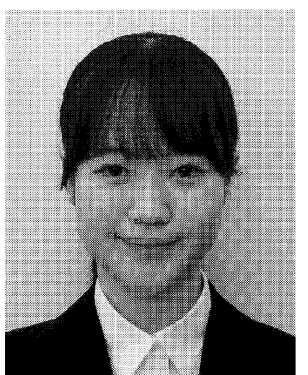
社会課題を「自分事」化する力
CVG北海道大会が示した学生の可能性

CVG北海道大会が示した学生の可能性



人・介護士に関する透明で信頼性の高い情報を提供し、介護市場の情報非対称性を解消する日本初のハイブリッド型プラットフォームである。発案者の家族が受けた経験을 背景に、利用者が弱者となる構造的問題を是正することを目的とする。現在の

介護市場は個人間取引が多く、情報が遮断されたブラックボックス化が進み、利用者は不当な扱いに声を上げにくく、善良な介護士も正当な評価を得られない状況にある。本事業は、優れた介護士を発掘・可視化すること、「メジャー効果」と、内部DBRによる事前照会と問題事例を排除する「マイナー効果」を組み合わせ、信頼に基づく健全なケア環境を構築することを目指す。介護を受ける側と提供する側が対等に尊重され、介護という仕事が正当な価値と誇りを得られる社会の実現を志向する取り組みである。（事務局作成）



「adventure travel」は、日本文化に関心のある外国人旅行者と伝統芸能や地域文化の継承団体をつなぐマッチングサービス。参加者は和太鼓、よさこい、書道などのパフォーマンスをう週間から1か月かけて練習し、旅の最後に祭りやイベントで披露する。単なる観光ではなく、地域生活

池田莉々香さん

から文化の理解を深める「日本文化×アドベンチャートラベル」という新しい旅行形態である。

長期滞在による経済効果やSNS投稿による観光PR、知られざる地域や文化の魅力発信のチャンスなど、多面的な効果が期待できる。2023年にATWS（アドベンチャートラベル・ワールドサミット）が北海道で行われたことを契機に日本がアドベンチャートラベルの適地として世界的な注目を集めている今、この事業は少子高齢化、後継者不足、地方の過疎化といった様々な社会問題解決の一助となる可能性を持つ。

努力賞

Green Card

小樽商科大学

金
建
鎮



代表の宮島慧人さん

飲食店や学食で余った米やおかずを、冷蔵・冷凍対応の無人ロッカーで安全に保存・販売す

獎勵賞

北海道教育大学 宮島 慧人
北海道教育大学 三寺 綸

努力賞

和 dventure Travel

小樽商科大学

池田
莉々香



第21回CVG北海道審査委員会

委員長 油谷 幸代（産業技術総合研究所北海道センター所長）
委員 渡部 哲典（北海道経済産業局産業部経営支援課長
商業支援室長）
委員 三浦 正彦（北海道経済部地域経済局中小企業課長）
委員 日高 青志（北海道立総合研究機構
産業技術環境研究本部工業試験場本部長・場長）

委員	小貫 秀治	(北海道発明協会専務理事)
委員	日谷 知章	(エア・ウォーター北海道事業企画部長)
委員	南 宗成	(日本政策金融公庫国民生活事業本部 北海道創業支援センター所長)
委員	里見 英樹	(メディア・マジック代表取締役)
委員	廣瀬 岳史	(NoMaps実行委員会事務局長)

第21回

キャンパスベンチャーグランプリ
北海道を応援しています。

北海道を応援しています。

※順不同

エア・ウォーター株式会社

株式会社砂子組

株式会社メディア・マジック

AWL株式会社

一般社団法人 北海道ニュービジネス協議会

株式会社北洋銀行